

2015年3月期 第2四半期 (2014年4月1日～2014年9月30日) 決算ご説明資料

決算発表日：2014年10月31日

IDEC株式会社

代表取締役会長兼社長 船木俊之

証券コード：6652



<http://www.idec.com/japan/>



2008
製品安全対策優良企業

- 1. 2015年3月期 第2四半期 連結業績概要
 - 1.1 連結決算のポイント P.3
 - 1.2 連結業績概要 <連結損益計算書> P.4-6
 - 1.3 製品別売上状況 P.7
 - 1.4 地域別売上状況 P.8
 - 1.5 連結業績概要 <連結貸借対照表> P.9
 - 1.6 連結業績概要 <連結CF計算書> P.10

- 2. 2015年3月期 連結業績予想
 - 2.1 2015年3月期 連結業績予想 P.12

- 3. ご参考資料
 - 3.1 業界の動向 P.14
 - 3.2 売上高・営業利益率 四半期推移 P.15
 - 3.3 海外売上高 四半期推移 P.16

1. 2015年3月期 第2四半期 連結業績概要



2015年3月期 第2四半期累計 業績概要

○売上高のポイント

・国内：売上高前年同期比 + 18.7%

国内設備投資需要の回復を受け、**制御用操作スイッチや安全関連機器など制御機器製品が前年を上回る水準で推移**したことに加え、今年度から本格的に事業を開始した**自動認識機器製品**が伸長し、前年同期比で増加。

・海外：売上高前年同期比 + 20.5%

制御用操作スイッチ、制御用リレーなど制御機器製品の販売が北米・中国で伸長したことに加え、**北米・アジア向けを中心にプログラマブルコントローラーなどの制御装置及びFAシステム製品の販売が伸長**するなど、前年同期比増加。

これらにより、グループ全体としては前年同期比19.3%の増加。

○利益のポイント

主として売上高増加による利益増加により、営業利益は前年同期比40.4%の増加。

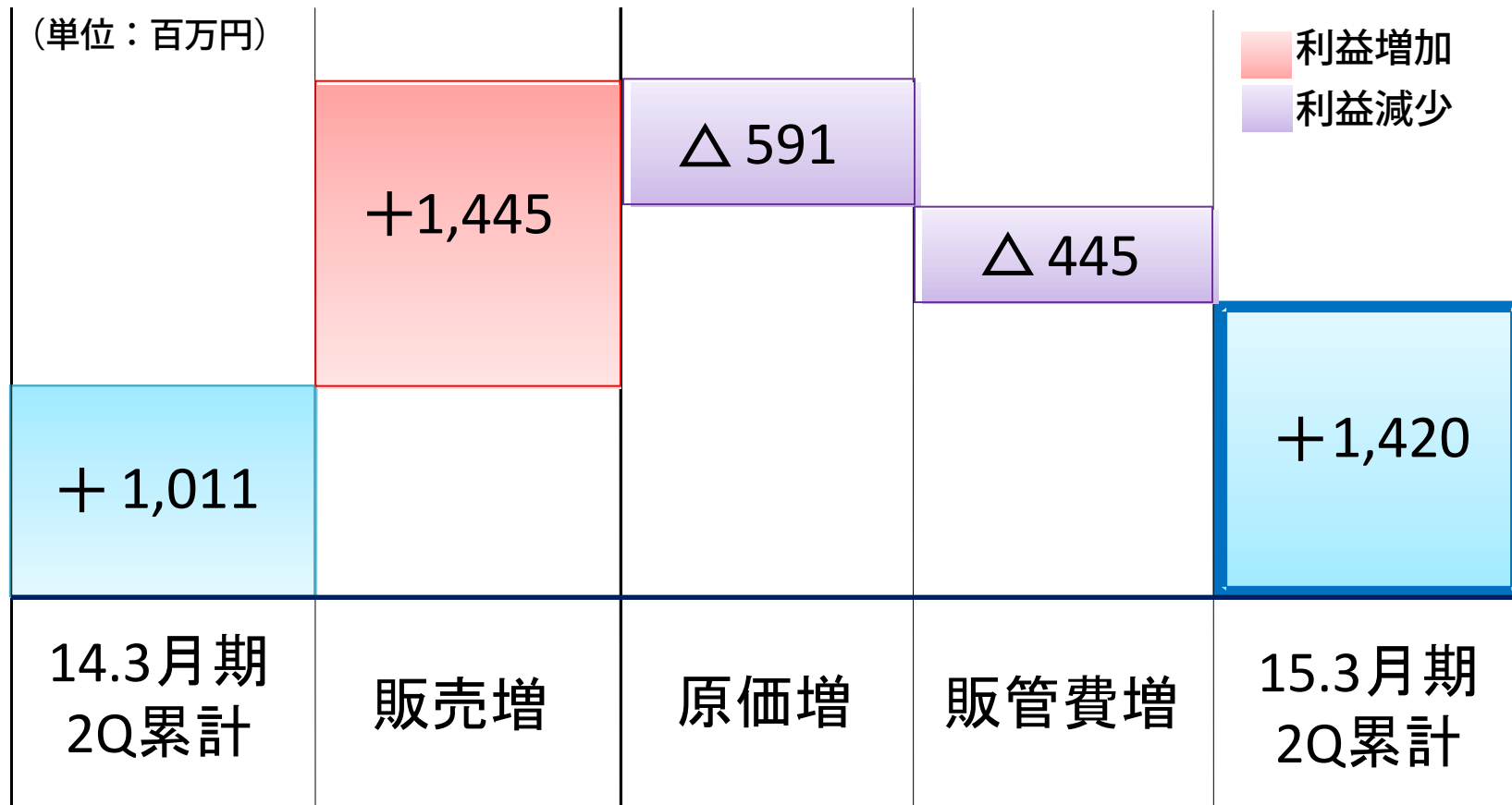
2015年3月期 第2四半期累計 業績概要

売上高 210億3千1百万円 (前年同期比+19.3%)
 営業利益 14億2千0百万円 (前年同期比+40.4%)

(単位：百万円)	15.3月期 2Q累計			14.3月期 2Q累計	
	実績	対売上比	前年同期比	実績	対売上比
売上高	21,031	100.0%	+19.3%	17,621	100.0%
売上総利益	8,323	39.6%	+11.4%	7,469	42.4%
販売費及び一般管理費	6,903	32.8%	+6.9%	6,458	36.6%
営業利益	1,420	6.8%	+40.4%	1,011	5.7%
四半期純利益	1,029	4.9%	+88.2%	547	3.1%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	34.15 ¥	—	+15.59 ¥	18.56 ¥	—
USDレート(¥)	103.01 ¥		+4.15 ¥	98.86 ¥	—

1.2 連結営業損益変動要因

新規事業拡大や連結子会社化に伴う販管費増があったものの、主として増収効果により、営業利益は前期と比べ約4億円増加。

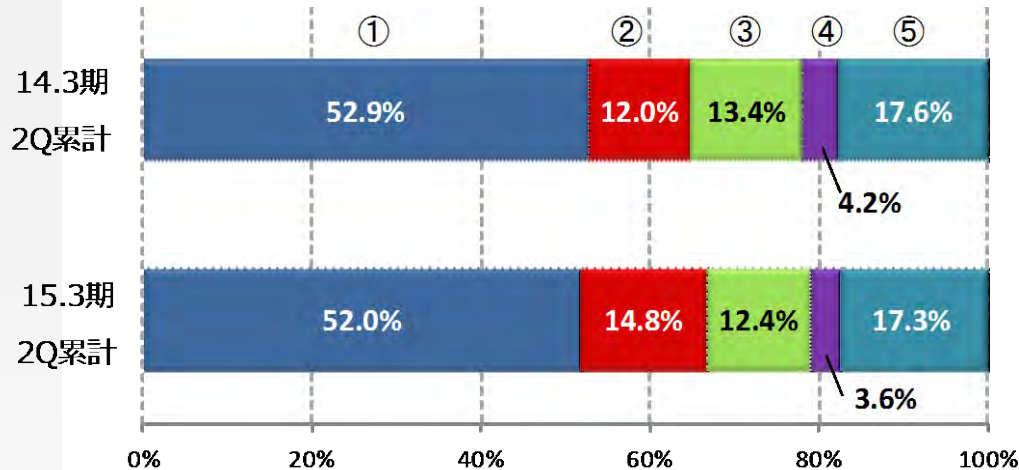


2015年3月期 四半期業績概要

売上高：前年度から当年度の各四半期と比較し増収（当年度第1四半期比+26.9%の増収）。
 利益面：主に売上高増加による増益。

(単位：百万円)	14.3月期				15.3月期			
	3Q (10月~12月)		4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)		2Q (7月~9月)	
	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比
売上高	9,314	100.0%	9,383	100.0%	9,270	100.0%	11,760	100.0%
売上総利益	3,794	40.7%	4,142	44.1%	3,904	42.1%	4,419	37.6%
販売費及び一般管理費	3,197	34.3%	3,408	36.3%	3,374	36.4%	3,529	30.0%
営業利益	597	6.4%	734	7.8%	529	5.7%	890	7.6%
四半期純利益	444	4.8%	465	5.0%	191	2.1%	837	7.1%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	14.98 ¥		15.51 ¥		6.36 ¥		27.73 ¥	

製品別売上状況



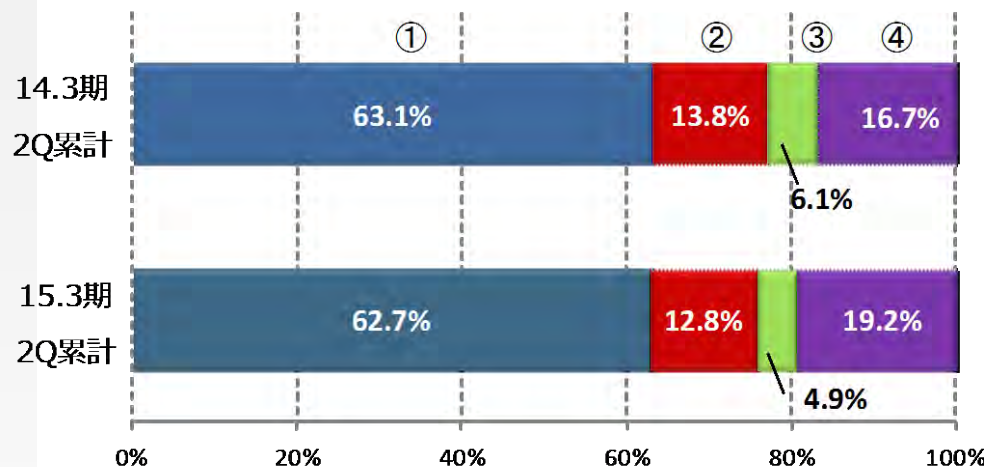
(単位: 百万円)

製品区分	15.3月期 2Q累計	14.3月期 2Q累計	前年 同期比
①制御機器製品	10,931	9,314	+ 17.4%
②制御装置およびFAシステム製品	3,108	2,113	+ 47.1%
③制御用周辺機器製品	2,605	2,358	+ 10.4%
④防爆・防災関連機器製品	753	735	+2.4%
⑤その他の製品	3,631	3,098	+ 17.2%
	21,031	17,621	+ 19.3%

ポイント

- 制御機器製品**
 日本において、制御用操作スイッチ、安全関連機器、産業用LED照明などが伸長。海外においては北米・中国で制御用操作スイッチやリレーなどが伸長。
- 制御装置およびFAシステム製品**
 北米・アジアを中心にプログラマブルコントローラの販売が増加したほか、本年度から本格的に事業を開始した自動認識機器製品が伸長。
- 制御用周辺機器製品**
 国内・アジア向け接続機器の売上が伸長するなど前年同期比増加。
- 防爆・防災関連機器製品**
 国内でリレーバリアなどの売上が伸長し、前年同期比では増加。
- その他の製品**
 産業用太陽光発電関連ビジネスなど環境関連製品の販売が伸長し、前年同期比増加。

地域別売上状況



(単位: 百万円)

地域区分	15.3月期 2Q累計	14.3月期 2Q累計	前年 同期比
① 日本	13,193	11,117	+18.7%
② 北米	2,698	2,427	+ 11.2%
③ 欧州	1,021	1,066	△ 4.2%
④ アジア・パシフィック	4,041	2,948	+ 37.1%
	21,031	17,621	+ 19.3%

ポイント

国内

前年同期比 + 18.7%

- 制御用操作スイッチ、制御用リレーなど主力製品が伸長したに加え、産業用太陽光発電ビジネスなど環境関連製品の販売が伸長したことにより前年同期比増加。

海外

前年同期比 + 20.5%

- 制御用操作スイッチ、制御用リレーなどの制御機器製品の販売が北米・中国地域で伸長、プログラマブルコントローラーなどの制御装置及びFAシステム製品の販売が北米・アジア地域で伸長するなど、前年同期比増加。

2015年3月期 第2四半期 連結貸借対照表概要

■ 資産のポイント

太陽光発電関連ビジネスの拡大に伴い、たな卸資産が18.4億円、また、受取手形および売掛金が13.8億円増加したことなどにより、総資産は前期末比35.5億円増加。

■ 負債のポイント

支払手形及び買掛金が7.5億円、借入金が7.7億円増加したことなどにより、負債は前期末比18.8億円増加。

■ 純資産のポイント

利益剰余金が8.3億円増加したことに加え、ストックオプション行使等による自己株式の減少、為替換算調整勘定のマイナス残高が5.9億円減少したことなどにより、純資産は前期末比16.6億円増加。

(単位：百万円)

科目	15.3月期 第2四半期末	14.3月期末 (前会計年度末)	前会計年度末比 増減
流動資産	26,578	23,683	+2,894
固定資産	22,751	22,095	+656
流動負債	16,705	14,893	+1,811
固定負債	1,932	1,856	+76
純資産	30,692	29,029	+1,662
総資産	49,329	45,778	+3,550

2015年3月期 第2四半期

連結キャッシュ・フロー計算書概要

■ 営業活動によるCF

たな卸資産の増減額が14.2億円の増加となった一方、税金等調整前四半期純利益が15.6億円となったことなどにより+2.4億円。

■ 投資活動によるCF

主に固定資産の取得により△7.7億円。

■ 財務活動によるCF

ストックオプション行使等により自己株式が1.5億円減少した一方、配当金の支払等により△2.9億円。

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー	15.3月期 2Q累計	14.3月期 2Q累計	前年同期比 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	243	1,967	△1,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△770	△1,597	+827
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	△526	369	△895
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299	21	△321
現金及び現金同等物の期末残高	7,096	7,601	△504
設備投資額	783	1,606	△822
減価償却費	787	792	△4

2. 2015年3月期 連結業績予想



2015年3月期 第2四半期累計業績を上方修正

2014年10月24日に、第2四半期(累計)連結業績の修正を発表いたしました。

制御機器製品を中心とする既存事業分野で国内をはじめ米国や中国を中心に当初計画を上回る状況で推移したことに加え、新規事業として取り組んでいる環境関連ビジネスが堅調に推移しており、2015年3月期第2四半期（累計）連結業績を修正いたしました。

なお、通期の業績予想については、現時点では据え置くことといたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当初予想（5月9日発表）	19,500	1,050	1,100	600
実績	21,031	1,420	1,571	1,029
増減額	+1,531	+370	+471	+429
増減率	+7.9%	+35.2%	+42.8%	+71.5%

2.1 2015年3月期 連結業績予想－2

Think Automation and beyond...

通期業績予想：売上高400億円（前期比10.1%増）、営業利益28億円（前期比19.6%増）

(単位：百万円)	15.3月期			14.3月期	
	通期予想	構成比	前期比	通期実績	構成比
売上高	40,000	100.0%	+10.1%	36,319	100.0%
制御機器製品	20,000	50.0%	+3.0%	19,416	53.5%
制御装置およびFAシステム製品	5,100	12.8%	+18.6%	4,301	11.8%
制御用周辺機器製品	5,200	13.0%	+5.5%	4,930	13.6%
防爆・防災関連機器製品	1,700	4.3%	+6.6%	1,594	4.4%
その他の製品	8,000	20.0%	+31.6%	6,076	16.7%
営業利益	2,800	7.0%	+19.6%	2,342	6.4%
経常利益	2,800	7.0%	+12.8%	2,482	6.8%
当期純利益	1,700	4.3%	+16.8%	1,456	4.0%
1株当たり当期純利益	56.60 ¥	—	+7.46 ¥	49.14 ¥	—
1株当たり配当金	30 ¥	—	0 ¥	30 ¥	—
※販売地域別売上高					
国内売上高	25,500	63.8%	+10.3%	23,108	63.6%
海外売上高	14,500	36.3%	+9.8%	13,211	36.4%
海外比率	36.3%	—	—	36.4%	—

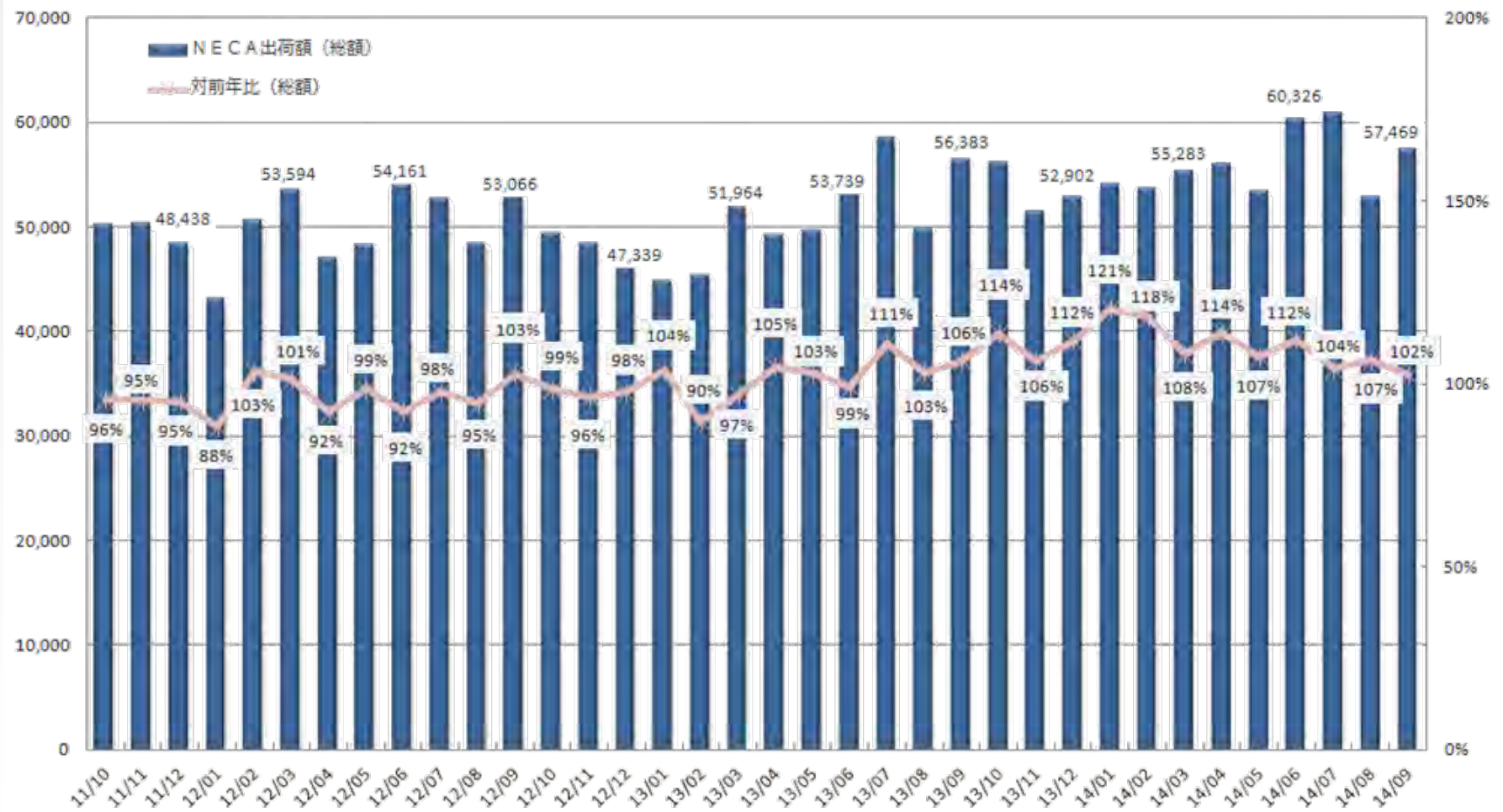
※2014年5月9日公表値から変更はございません。

3. ご参考資料



11年10月～14年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況

(単位：百万円)



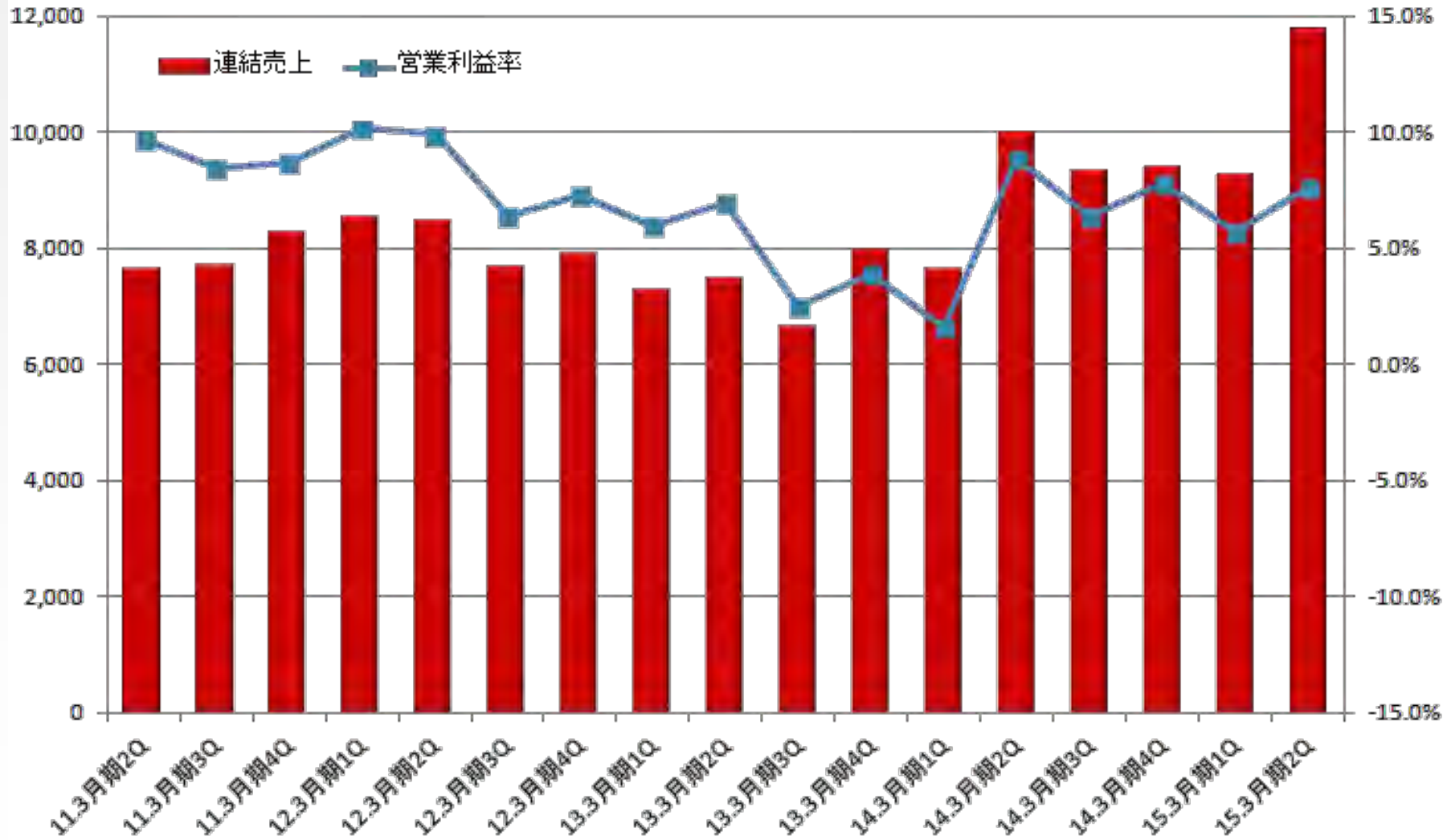
※ NECA(日本電気制御機器工業会)の統計データによる。
 ※ 制御機器の業界団体であるNECAには、大手ではIDEC以外に、オムロン(株)、パナソニック(株)、アズビル(株)、富士電機機器制御(株)などが参加しており、NECAの統計は、それら企業の出荷実績をもとに集計されています。NECAにおける制御機器業界の市場規模は、約7.0千億円(年間)程度となっています。



3.2 売上高・営業利益率 四半期推移

Think Automation and beyond...

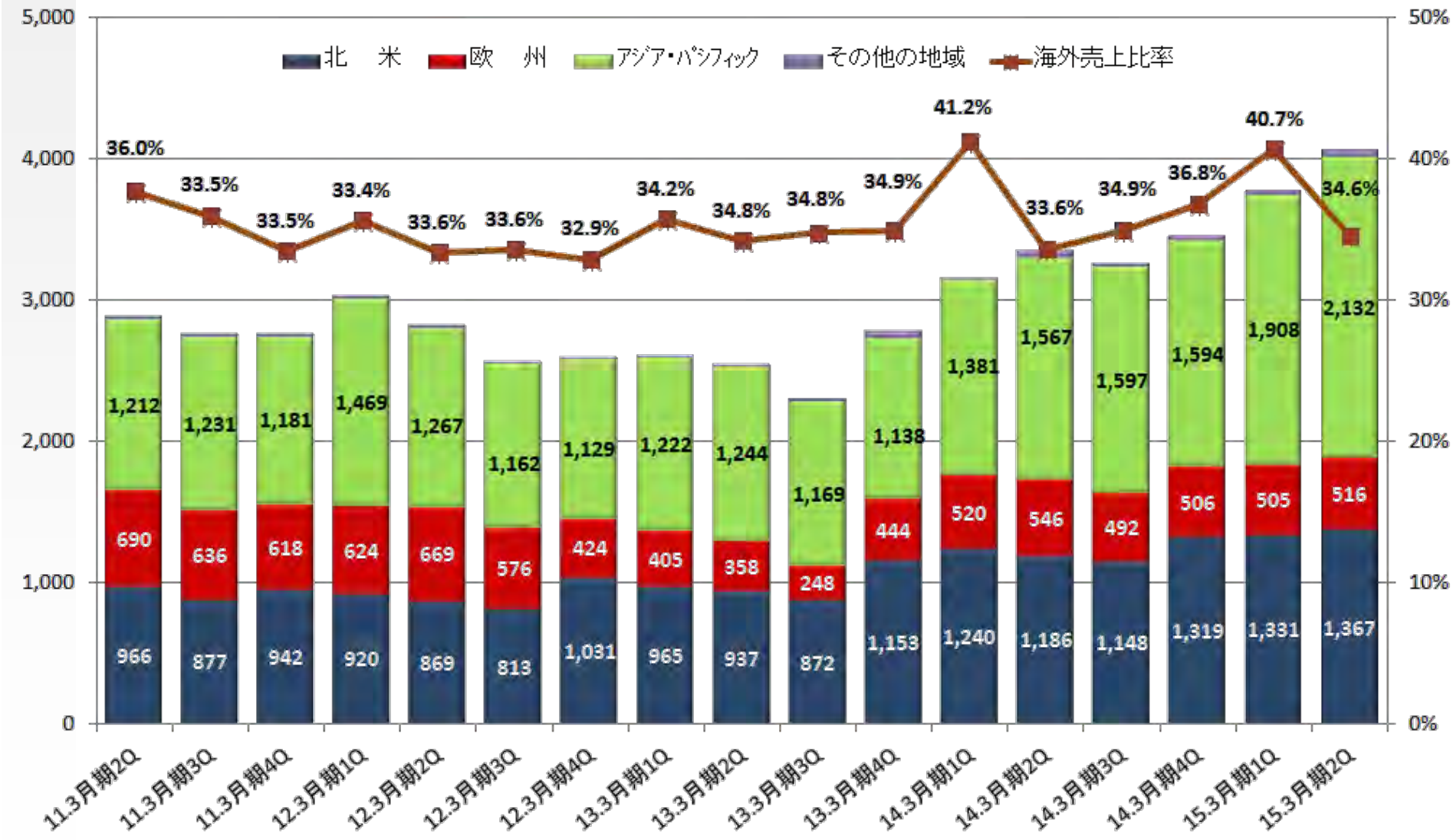
(単位：百万円)



3.3 海外売上高 四半期推移

Think Automation and beyond...

(単位：百万円)



この資料には、一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社

経営管理部 経営企画グループ

TEL : 06-6398-2550

FAX : 06-6398-2587

E-mail: yogawa@idec.co.jp

